



# 森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

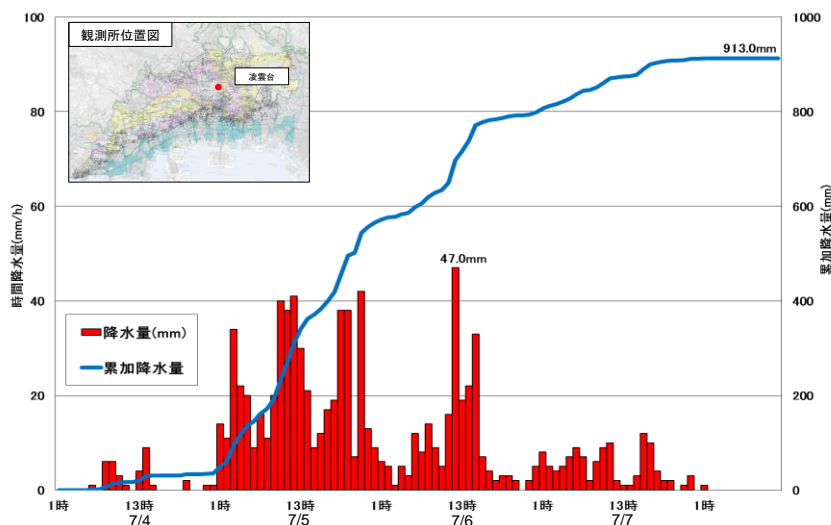
## 平成 30 年 7 月豪雨

皆様ご存知のように、7月4日昼から8日にかけて、暖かく湿った空気が東日本から西日本に停滞している梅雨前線に向かって流れ込みました。その影響で梅雨前線の活動が活発となり、西日本の広い範囲で猛烈な雨が断続的に降り、各地で甚大な被害がありました。

### 雨の量と強さ

六甲山系では山頂付近の凌雲台観測所において、累加降水量（降り始めからの雨の量）が913ミリを記録しました（右図）。

場所が異なるので比較は難しいですが、神戸海洋気象台の7月の平年の降水量（152ミリ）の6倍にあたる量が4日で降ったこととなります。バケツをひっくり返したような激しい雨（30～50ミリ/時）が何度もありました。



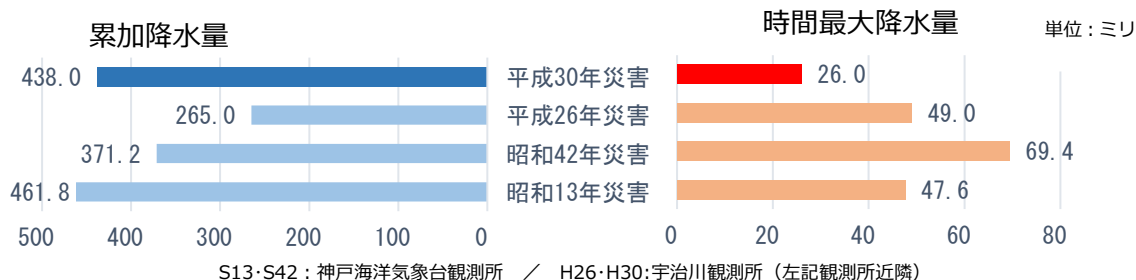
### 過去の災害時との比較

過去の災害と比較可能な宇治川観測所では累加降水量が438ミリと、昭和13年災害（死者695名）や42年災害（死者98名）に匹敵するものでした。

時間最大降水量は26ミリであり、どしゃ降りの雨が長時間にわたり降っていたことがわかります。

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感

気象庁 HP より作成



S13・S42：神戸海洋気象台観測所 / H26・H30：宇治川観測所（左記観測所近隣）

※数値等は、今後の精査等により変更する場合があります。2018.7.17 16時時点

## 災害状況

7月豪雨による自治体被害（六甲山系 GB に関連する 神戸市、西宮市、宝塚市、芦屋市）は以下の通りでした。

- 人的被害 神戸市 軽傷 1 名、西宮市 2 名
- 住家被害 神戸市 全壊 10 棟、半壊 7 棟、一部損壊 50 棟  
宝塚市 一部損壊 1 棟
- 土砂崩れ 神戸市 109 箇所、西宮市 3 箇所、宝塚市 2 箇所

平成 30 年 7 月豪雨の被害等について第 14 報（兵庫県）より整理



神戸市灘区篠原台



神戸市灘区六甲山町（六甲ドライブウェイ）

## 六甲砂防事務所の対応状況

六甲砂防事務所においても、7月5日から災害対策体制をとり、情報収集や調査、現地の応急対策などの対応を実施しました。

- ・ 通報箇所等現地確認（45 箇所すべて完了）
- ・ ヘリ調査（六甲山全域すべて完了）
- ・ 砂防施設点検（135 箇所すべて完了）
- ・ GB 巡視点検（21 箇所すべて完了）
- ・ 溪流調査（382 箇所すべて完了）

### 応急復旧（土砂流出・流出水対応）



倒木処理



法面崩壊対応



撤去完了



シート張実施

神戸市兵庫区清水町地先

神戸市兵庫区山王町地先

## 活動地周辺の状況



写真は、豪雨から数日後の森の世話人活動地（一部）周辺の様子です。

登山道のぬかるみ、小川の増水、通行に支障のない範囲の倒木や落石はありましたが、通行できない状況ではありませんでした。